

科目名・単位数	財務会計実務演習 I 2単位	科目分類	財務会計系	応用・実践科目
配当年次	2年次・春学期・昼	担当教員	あべ ひでとし	
履修形態	選択必修		安部 秀俊	
授業概要	<p>この授業では、企業会計の基礎を一通り学習した者を対象に、実務において重要な論点・項目について、企業会計基準委員会により設定されたそれらに関する会計基準や適用指針等の内容を確認していくとともに、適用指針等の末尾にある設例（計算例）を実際に解いて理解を深めていくことを目的としている。この授業により、今まで学習した簿記・会計の知識をさらに深めてもらい、将来会計の仕事に携わる場合に役立ててもらいたい。</p> <p>具体的には、テキストである『会計監査六法』に掲載されている「会計基準」及び「同適用指針」等の内容を説明・確認していくが、各基準等に関する課題を与え、交替で発表してもらうことを予定している（発表の割当は授業中に行う）。</p>			
到達目標	<p>実際の会計基準や適用指針等を確認してもらうことにより、今まで学習した企業会計の知識をより深めてもらうとともに、実際の財務諸表の作成や分析ができるようになることを目標とする。</p>			
授業方法	<p>オンライン授業（オンデマンド型）を行う。授業においては講義が中心となるが毎回の課題とフィードバック、メール等による質疑応答を通じて、双方向性を確保する。教室での対面授業の開始後、ディスカッションの場を設ける</p>			
事前・事後学習	<p>報告発表用として準備のための事前学習が必要である。事後学習として、講義内で使用した教材について再度読み直し知識の定着化を図ってほしい。なお、事前・事後それぞれについて学習時間の目安は90分～120分である。</p>			
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の内容や出来映え（50%） ・レポート課題（50%） 			
フィードバックの方法	<p>レポートの解説は授業内で時間を設けて行う。</p>			
履修上の注意	<p>企業会計の基礎を一通り学習していること。また、割当てられた発表について責任をもって担当することを望む。</p>			
授 業 計 画				
第1回	<p>オリエンテーション：自己紹介及び今後の授業の進め方を説明する。</p> <p>1. 減価償却に関する当面の監査上の取り扱い 現行の税務上の減価償却方法及びその監査上の判断について説明・確認</p>			
第2回	<p>2. 固定資産の減損に係る会計基準及び同適用指針その① 「固定資産の減損に係る会計基準」について説明・確認</p>			
第3回	<p>2. 固定資産の減損に係る会計基準及び同適用指針その② 「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」について説明・確認</p>			

第4回	3. 資産除去債務に関する会計基準及び同適用指針その① 「資産除去債務に関する会計基準」について説明・確認
第5回	3. 資産除去債務に関する会計基準及び同適用指針その② 「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」について説明・確認
第6回	4. リース取引に関する会計基準及び同適用指針その① 「リース取引に関する会計基準」について説明・確認
第7回	4. リース取引に関する会計基準及び同適用指針その② 「リース取引に関する会計基準の適用指針」について説明・確認
第8回	5. 研究開発費等に係る会計基準及び同実務指針 「研究開発費等に係る会計基準」及び「研究開発費及びソフトウェアの会計処理に関する実務指針」について説明・確認
第9回	課題の発表及びディスカッション① 減損会計等に関する課題の発表及びディスカッション
第10回	6. 工事契約に関する会計基準及び同適用指針 「工事契約に関する会計基準」及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」について説明・確認
第11回	7. 退職給付に係る会計基準及び同適用指針その① 「退職給付に関する会計基準」について説明・確認
第12回	7. 退職給付に係る会計基準及び同適用指針その② 「退職給付に関する会計基準の適用指針」について説明・確認
第13回	8. ストック・オプション等に関する会計基準及び同適用指針その① 「ストック・オプション等に係る会計基準」について説明・確認
第14回	課題の発表及びディスカッション② 退職給付会計等に係る課題の発表及びディスカッション
第15回	8. ストック・オプション等に関する会計基準及び同適用指針その② 「ストック・オプション等に係る会計基準の適用指針」について説明・確認
テキスト	講義中に資料を配布する。
参考図書	『会計監査六法』（最新版）日本公認会計士協会 企業会計基準委員会 共編 （日本公認会計士協会出版局）